

巻 頭 言



専務取締役
エンジニアリング事業部長 平井 信恒

21世紀を目前にした今日、われわれをとりまく社会環境は、世界的規模でかつてないスピードで目まぐるしく変化している。人々の価値観やライフスタイルもますます多様化しつつある。このような社会動向の中で、知的集約産業といわれるエンジニアリング事業に課せられた課題は、このような変化に斬新な発想で柔軟に対応することである。特に近年危機感をもって注目されているエネルギー、環境関連分野におけるエンジニアリング技術開発への期待は大きい。

製鉄所建設と操業で蓄積された技術、ノウハウをベースとして始まった当社のエンジニアリング事業は、拡鉄、越鉄へとその対象分野を拡げ、国内、海外で時代の要請に応じて、分野間の境界にとらわれることなく、あらゆる可能性を追求しながら発展してきた。真の豊かさや、地球環境保全を考えた開発の在り方などを世に問いつつ、総合エンジニアリングへと事業規模を拡大し、技術を蓄積してきた。

総合エンジニアリング企業としては、着々と実績を積み重ねてはいるものの、まだ解決すべき技術課題は多く、企業を取りまく社会環境も厳しいものがあるが、怯むことなくこれに挑戦し、新しい事業文化形成へと夢は膨らんでいる。

当社が、エンジニアリング事業を旗揚げしてから20年経過し「個性的な複合経営」の一つの柱として地位を築きつつある現在、技術開発の歴史を振り返り、総合的に当事業部門の最新技術、商品を紹介できる機会が与えられたことは、時宜を得たものと思う。この特集号が、多少なりとも、関係各位のご参考となり、ご批判をいただければ幸いです。